

# 平成29年度「やさしい信濃の歴史講座」

今年度の講座は、「川と信州のあゆみ」を共通テーマに長野県の歴史をわかりやすく紹介します。寒い時期ですが、是非歴史館にお出かけください。

【期日等】平成29年12月9日～平成30年3月10日  
全7回（詳細は下記のとおり）  
【会場】長野県立歴史館 講堂  
【時間】13時30分～15時10分（受付は12時30分から）  
【費用】聴講には講座料（常設展示券、300円）が必要。  
※年間パスポート会員、ボランティア会員、古文書愛好会の方は、その会員証の提示で聴講できます。  
【その他】事前申込みの必要はありません（先着220名）。



期日・中テーマ	講座名 講座名・内容は変更になる場合があります	担当 ※無印は当館職員
■第1回 12月9日(土) 水を求めて	御牧ヶ原と塩田のため池 －本州一の少雨地に田をつくる－	畔上 不二男
	水を得る戦い ー用水堰の開鑿ー	小野 和英
■第2回 12月23日(土) 川とともに生きる	日本人の心に生きる「河童」	溝口 俊一
	信州の川と利水・治水・親水	市川 厚
■第3回 1月6日(土) 川と自然	変わりゆく人里の植物たち ～安曇野の水辺から～	※松田貴子氏 (安曇野市 新市立博物館準備室職員)
■第4回 1月13日(土) 川と信仰	天竜川流域の信仰とその造形 －諏訪大社神宮寺と知久氏を中心に－	※織田顕行氏 (飯田市美術博物館学芸員)
■第5回 2月3日(土) 川のある風景	川のある風景 ー広重《洗馬》をめぐって	林 誠
	器械製糸黎明期の歴史 －水車の動力利用にかかわって－	山田 直志
■第6回 2月17日(土) 原始・古代の川	「屋代ムラ」その日その時、そして復旧・復興への道のり －発掘調査からみた888年の大洪水とその後－	寺内 隆夫
	旧石器時代のムラ ー川辺のムラ、湿地を囲むムラー	大竹憲昭
■第7回 3月10日(土) 信州を見据えて	果てなく黄色い花咲く丘で ー長野県民の満州体験ー	青木隆幸



※講座を含むイベント情報はホームページでもご紹介しています。

<http://www.npmh.net/>

長野県立歴史館

検索

※お問い合わせは、長野県立歴史館・総合情報課（電話 026-274-3991）まで。

ブックレット第23号

（当館ミュージアムショップにて1,000円で販売中）

長野県立歴史館